



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2015. 4. 22 (No.2820) 週報 No. 35

第2560地区ガバナー／佐々木昌敏
会 長／高橋 司
会長エレクト／五十嵐晋三(クラブ奉仕A)
副 会 長／川瀬康裕(クラブ奉仕B)
幹 事／野崎喜一郎
S A A／松永一義
会 計／若槻八十彦

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(～はshiftを押しながら“へ”のキーを押してください)

■本日の出席会員数:51名中36名
■先々週出席率:91.67%

【先週のメイクアップ】

【4.16】 三条東RCへ

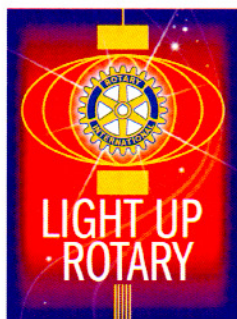
- ・斎藤弘文さん、石橋育於さん、
- ・丸山行彦さん、阿部吉弘さん、
- ・西山徳芳さん

【4.16】 燕RCへ

- ・加藤紋次郎さん、阿部吉弘さん

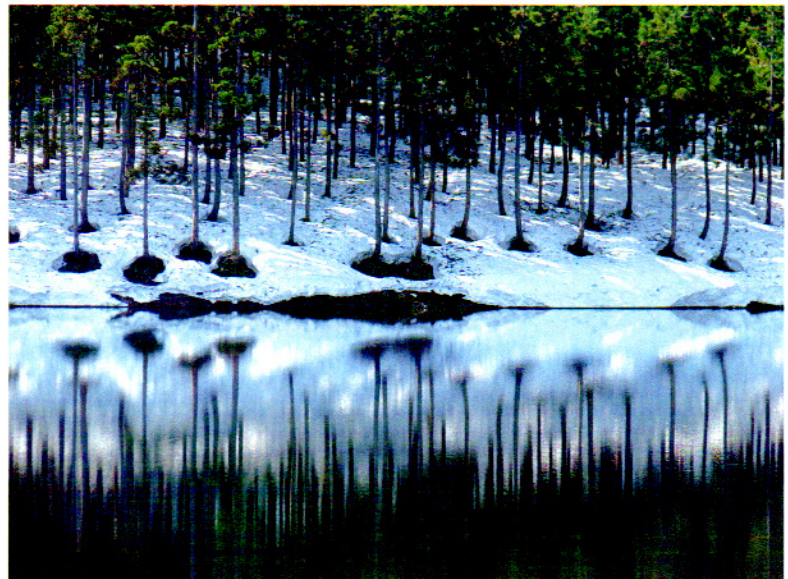
【4.20】 三条南RCへ

- ・山田富義さん、丸山行彦さん、
- ・加藤紋次郎さん



「ロータリーに輝きを」

2014～2015年度国際ロータリーのテーマ



「津南の春」 荻根澤隆雄 会員より

会長挨拶

高橋 司 会長



皆さん今日は。

先週15日の新竹城中R.Cとの第4次姉妹クラブ締結調印式並びに歓迎式典も無事終えることができました。皆様のご協力に感謝いたします。

本日の卓話は太田寿三会員です。よろしくお願ひします。

今日は何の日、国民的人気のある漫画「サザエさん」が「夕刊フクニチ」新聞紙上に初めて「4コマ」漫画として連載された日です。今から69年前の1946年です。日本初の女性プロマンガ家です。作者の長谷川町子さんは佐賀県小城郡東多々村で1920年1月30日に生まれ、1992年5月27日満72歳で没。活動期間は1935年～1987年の51年間です。

【執筆時のエピソード】

長谷川は、西日本新聞社の絵画部に所属していた。その後1946年、同社から新しく発行された『夕刊フクニチ』で彼女は連載漫画を頼まれた。自宅の近所である百道海岸付近を妹と散歩している時に、本作の家族構成や名前を思いついた。当初、作者自身はアルバイトのつもりでやっていた、と語っている。

連載を再開する際、作者本人が、マスオの顔を忘れていて、西日本新聞社東京支局（福岡で連載していた福岡日日新聞は西日本新聞の夕刊）まで行き確認したエピソードがある。

父 勇吉さんの仕事の関係で幼少時に福岡市^{はるよし}春吉に転居、福岡県立福岡高等女子校の2年生まで福岡で育った。父の死去に伴い1934年（昭和9年）に一家で上京する。

1951年（昭和26年）4月16日から『朝日新聞』の朝刊に連載されるが作者が病気がちで、たびたび休載され1974年（昭和49年）2月21日をもって3年間の休載に入る。しかしその後は連載が再開されることなくそのまま打ち切りとされた。全6477話である。単行本の発行部数は姉妹社版が7,000万部以上、朝日新聞社版が1,600万部以上に達する。日本の新聞連載漫画としては最大のベストセラーである。

1969年10月5日フジテレビの第一回放送、2013年（平成25年）9月22日時点で放送年数44年、放送回数2253回。

【作風とその変化】

連載が長くなるにつれ、作者長谷川町子自身『サザエさん』から他の作風へと興味が移っていった。彼女は自伝『サザエさんうちあけ話』の中で「子供にも無害なヒューマニズム（ヒューマニタリズム）には飽きた」「書き手にとっては取材範囲が限られるのが苦しい」と言っている。この時に生まれたのが『いじわるばあさん』（1966年）である。エプロンおばさん「サンデー毎日」に連載1957年1月6日～1965年7月25日号

【サザエさん効果】

大和総研が2005年に発表したりポートによれば、アニメ版「サザエさん」の視聴率が上がると株価（東証株価指数）が下がり「サザエさん」の視聴率が下がると株価が上がるという法則があるという。その相関係数（絶対値）は0.86という高い数値を示しており、ニューヨーク株式市場の株価指数と東証株価指数の相関係数0.56に比べても有意に高い値と言える。景気の良い時は日曜日に夕方に外出する機会が増え、この時間帯に放映される「サザエさん」を見なくなるからではないかと言う仮説がある。しかし相関係数が高くても、因果関係がない場合には無関係という反論もある。

【主な登場人物】

フグ田サザエ

本作の主人公。福岡県生まれの磯野家の長女。特徴的な髪型は当時の流行にあわせている。単行本1巻で東京に引っ越し、単行本2巻でフグ田マスオと結婚しタラオをもうける。性格は快活でそそっかしく、よくカツオと取っ組み合いの喧嘩をしている。

磯野カツオ

磯野家の長男で小学生。アニメ版では一貫してか

もめ第三小学校5年3組となっている（ワカメも同様）。髪型は基本的に丸刈り。連載開始当初は、ワカメの面倒をよく見ているちょっと抜けているお兄さん、といった雰囲気を持っていた。連載後半になるにつれ、現在のアニメ版のようなズル賢く機転の利く腕白坊主となり、口も達者となり登場回数も格段に多くなる。

磯野ワカメ

磯野家の次女。原作漫画では最終的に小学1年生で7歳の設定だが、アニメでは小学3年生。原作とアニメ版において最も性格が異なる。性格は天真爛漫で、非常に活潑である。アニメ版では「優等生」になっており存在感も薄いですが、原作では立場が逆であった。

磯野波平

磯野家の大黒柱で、3姉弟の父。年齢は54歳。職業はサラリーマン（事務職）で、会社は銀座の晴海通り沿いにある。初期の役職は「局長」であったがいつの間にか降格しており、後期には平社員となっていた。アニメでは磯野家の“家長”として威厳があるが、原作においては威厳がなく、家族を叱るシーンもあまり多くなく、登場回数も必ずしも多くない。

磯野フネ

波平の妻。旧姓は石田。アニメではほとんど怒らないが、原作では性格は厳しく、激しい気性の持ち主である。家族を叱る回数も波平より多い。また、波平の陰口を言ったり、喧嘩中は波平にちょっとした嫌がらせをするなど、アニメではあまり見られない陰湿な一面もある。

フグ田マスオ

日刊フクニチ連載当時の最終回で初登場し、2巻でサザエと結婚したサラリーマン。結婚当初はサザエとタラオとのフグ田家3人で磯野家の近所にある借家に住んでいたこともあり、2巻において大家と喧嘩し追い出されたため磯野家と同居。現在に至る。アニメではかなり気の弱い夫となっているが、原作では磯野家に対して主張する時もある。

フグ田タラオ

サザエとマスオの長男。2巻から登場。赤ん坊コンクールで2等賞をもらったことがある。アニメでは大人しく物分りの良い「いい子」だが、原作では若干乱暴者である。サザエに背負われるなどして登場回数こそ少なくないが、セリフがほとんど無い。カツオ、ワカメはごく初期において、タラちゃんの前で自分達のことをそれぞれ「おじちゃん」「おばちゃん」と称していた。当初、タラちゃんの登場を予告する文面では「女の子」設定だった。

波野ノリスケ

波平の妹の三男（波平の甥、サザエ・カツオ・ワカメの従兄弟）。体型はやや太り気味。新聞記者。8巻から12巻の間、押しかけ同然に磯野家に居候する。波平や新入社員に借金を頼み込んだこともあるなど

図々しい性格でちゃっかり屋であるが、その人柄の良さからか、磯野家の面々からは嫌われてはいないようである。12巻で入江（旧姓）タイ子とお見合い結婚。

波野タイ子

ノリスケの妻。旧姓は入江。結婚当初は身のこなしが上品であった。しかし登場回数が少ないからか、結婚後は時に太っていたりと、容姿に変遷が見られる。アニメ版のような家族ぐるみの付き合いは描かれていないが、サザエとは初期によく絡んでいた。

幹事報告

野崎喜一郎 幹事

◎三条市役所より

「三条市合併十周年記念式典のご案内」

日 時 5月10日(日)

受付 9:30～／式典 10:00～

会 場 燕三条地場産業振興センター

◎三条RACより「5月例会のご案内」

【第一例会】 5月7日(木) 19:30～

【第二例会】 5月21日(木) 19:30～

・会場は、リサーチコア4階 異業種交流室です。

・5月21日(木)の卓話は、高橋 司会長が行います。

◎佐々木ガバナー事務所より

「第25回 日本ロータリー親睦ゴルフ 北海道大会のご案内」

開催日 6月22日(月)

会 場 小樽カントリー倶楽部

締 切 5月15日(金)

◎吉田RCより

「事務所・電話・FAX番号変更のお知らせ」

新事務所：齋藤税務会計事務所

(住所に変更はありません。)

電話番号：0256-92-3735 FAX番号：0256-92-3391

◎本日、2015-16年度の地区テーマバッジをお配りいたしました。

※地区のクリアファイルの中にテーマバッジが入っています。

※予備がございませんので、大切に保管してください。



新竹城中扶輪社よりの贈答品

ニコニコBOX

高橋 司さん

新竹城中RCとの第4次姉妹クラブ締結式及び歓迎式典無事終了することができました。皆様のご協力に感謝します。

会員卓話 太田寿三様よろしく申し上げます。

太田寿三さん

本日は卓話の機会を頂戴致しましてありがとうございます。皆様どうぞよろしくお願ひ致します。

佐野勝榮さん

先週は姉妹クラブ締結調印式に皆様からの御協力に感謝申し上げます。お陰様で無事終える事ができました。

五十嵐晋三さん

新竹城中ロータリー調印式及び春の旬例会、楽しい一夜でした。

関川 博さん

新竹城中RCとの調印式、歓迎会が無事終了してホッとしています。皆さんの笑顔がなによりでした。太田さん本日の卓話楽しみにしております。

樺山 仁さん

桜も葉桜となり次は八重桜が3分咲きです。連休もすぐそこです。楽しみです。

本日の太田会員の卓話に期待して！

宮本信秋さん

先週の新竹城中RCとの調印式、懇親会お疲れ様でした。貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございます。

渡辺良一さん

新竹のメンバーとの時間、楽しかったですね！皆さんご苦労さまでした。

太田さんよろしくお願ひ致します。

小林敬典さん

天気がよいと気持ちも晴々します。あたたかくなって有難いことです。

衛藤泰男さん

私の住んでる柳沢でウグイスが発声の猛練習をしています。私にはキョ、キョ、キョ、キョケッキョ、と聞こえます。ウグイス君、早く上手に鳴いてくださいね。

吉井直樹さん

久しぶりに車の中が暑く感じました。春 晴れ、五月晴れを満喫したいです。先週の春例会、大変お疲れ様でした。委員長、委員会メンバーさんのご活躍で、すばらしいものでした。

本日太田さん、宜しくお願ひします。

川瀬康裕さん

新竹城中クラブとの調印式お疲れ様でした。

太田さん卓話ありがとうございます。

小越憲泰さん

先週は楽しかったです。

今日は太田さん卓話ありがとうございます。

伊藤寛一さん

新竹城中、ご苦労様でした。

太田会員卓話楽しみです。

中村信一さん

新竹城中RC、みなさん大変御苦労様でした。すごく良かったと思います。

杉山幸英さん

すばらしいお天気に成りました。うきうきします。

太田会員卓話楽しみにしております。

荻根澤隆雄さん

市内の花見がゆっくり出来なかったので無理してでも遠くへ出掛けて花巡りしたいです。

太田様ご苦労様です。

松永一義さん、中村和彦さん

よいことがありました。スマイルボックスに協力いたします。

渋谷健一さん、山田富義さん、明田川賢一さん、

歸山 肇さん、金子俊郎さん、若槻八十彦さん、

丸山行彦さん、野地貞儀さん、小林吾郎さん、

五十嵐博宣さん、浅野金治さん

太田寿三会員、今日は卓話ありがとうございます。

お話楽しみにしております。

4月22日分 ￥ 37,000

今年度累計 ￥967,000

5月のお祝い

◎会員誕生祝

1日 成田秀雄さん

8日 菊池 渉さん

17日 松永一義さん

21日 若槻八十彦さん

22日 明田川賢一さん

24日 小林敬典さん

28日 吉井直樹さん



◎夫人誕生祝

15日 明田川みゆきさん (賢一さん)

16日 歸山 敬さん (肇さん)

17日 渡辺清美さん (稔さん)

◎結婚記念祝

1日 近藤雄介さん (律子さん)

2日 若槻八十彦さん (由美子さん)

3日 五十嵐博宣さん (美和さん)

5日 小越憲泰さん (百合子さん)

8日 佐野勝榮さん (美知子さん)

10日 加藤紋次郎さん (一代さん)

11日 伊藤寛一さん (美智子さん)

11日 米山智哉さん (永呂子さん)

12日 木村文夫さん (二三子さん)

20日 菊池 渉さん (まゆみさん)

24日 阿部吉弘さん (香苗さん)

◎100%出席賞

11年 杉山幸英さん

「卓話」

太田寿三 会員



1. 新潟県三条市にやって参りました

・成人の日を含めた3連休に引越してきて3ヶ月が過ぎました

・齢50にして初めての単身赴任、一人暮らし

・洗濯ひとつにも一苦労ー洗

濯ものは外に干さない!?

・関東と新潟の違い

2. 生まれ故郷“青梅(おうめ)”のこと

・東京の北西部、埼玉との県境・地名由来は「将門誓いの梅」伝説ー地に刺した枝が根を張り実は夏を過ぎても青いままであった

・特に有名な名所旧跡はないー比較的有名なイベントとして青梅マラソン

・著名な出身者はプロレスラーのストロング小林

・落雷が多く幼少の頃は稲妻と雷鳴が死ぬほど怖かった

3. 幼少のころ好きだったことが今も変わらず

・生まれは昭和38年、1963年12月

・力道山が刺されてケネディーが暗殺された年

・同じ年の芸能人は藤谷美和子、河合奈保子、ジョニーデップ

・同じ誕生日の人はアキヒト天皇

・例に漏れず誕生日とクリスマスは同時開催

・その分プレゼントは豪華と説明されたが世の中の理不尽さを感じていた

・兄弟は2つ歳下の妹が一人ーJTBで添乗員をしている

- ・当時の少年がみな夢中になっていた野球が大嫌いであった
- ・両親はスポーツに全く興味を示さない私を心配して剣道を習わせてくれた－苦痛以外の何物でもなかった
- ・学校の音楽の時間に先生が聞かせてくれるクラシック音楽に惹かれた
- ・母にねだってレコードプレーヤーを買ってもらいレコードをよく聞いた
- ・ウィリアムテル序曲で有名なロッシニ序曲集
- ・更に音楽にのめり込むことになるきっかけが小学校を卒業する年、友人宅で聞いたアメリカの兄弟デュオ、カーペンターズ
- ・意味はわからないので単純にメロディーの美しさだけで虜になった
- ・海外にはこんな音楽があるのか！
- ・以来40年間、未だに惹かれ続けている－レコードではなくCDだが全て三条に持ってきた

4. 文学青年の悩み

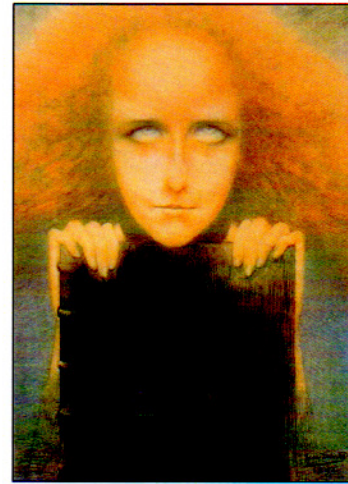
- ・地元の小中を卒業した後、都立高校にすすむ
- ・この間一時的に卓球部や剣玉部に所属したことはあったがスポーツには無縁
- ・スポーツ音痴も更にエスカレート
- ・大学受験に失敗し浪人生活を1年
- ・翌年希望していた早稲田大学商学部に合格したがこの頃対人恐怖症に悩まされる－電車に乗っている時も人の目が気になって仕方ない
- ・その頃愛読していたのは太宰治－後にも先にも全集というものを買って読んだのは太宰だけ
- ・カレンカーペンターの死因を知る－自分の容姿に劣等感を抱き続けた結果の摂食障害で死亡
- ・以降、悩めるアーティストに傾注
 - ニックドレイク－
抗鬱剤の過剰摂取により死去（享年26歳）
 - シドバレット－
極度の鬱病で完全に実家に引きこもったまま死亡（享年60歳）
 - エリオットスミス－
自らナイフで胸を刺して死亡（享年34歳）
 - リチャーマニュエル－首つり自殺（享年42歳）

・象徴派の絵画

象徴主義（象徴派）：目に見えないもの、感じるもの、人間の内面や夢、神秘性などを象徴的に表現
 ギュスターヴ・モロー「出現」、エドワード・ムンク「叫び」



フェルナン・クノッフー 「私は私自身に扉を閉ざす」



ジャン・デルヴィールー 「ミステリオーザ」



Nick Drake 1948 - 1974



Syd Barrett 1946 - 2006



Karen Carpenter 1950 - 1983

5. 大学時代と旅

- ・家庭教師のアルバイトを掛け持ちして自由なお金は結構あった
- ・気の合う仲間と旅に出たーそれがバリ島でありタイ
- ・バックパッカーのバイブルになっている沢木耕太郎の「深夜特急」が出たのもこの頃
- ・当時の新宿の雑居ビルにある小さな代理店で航空券だけ買ってぶらっと海外に行く
- ・その代理店はヒデインターナショナルという名ー今のHIS
- ・それらアジアの旅の印象が強烈で旅行に関わる仕事をしたいと思った

6. “日本旅行” に入社して

- ・縁あり今の会社に内定 1987年、昭和62年のこと
- ・日本旅行という会社
- ・KNT：城山三郎「臨3311に乗れ」、JTB：高杉良「辞表撤回」のような著名な書物がない
- ・日本で最も歴史の古い会社
- ・この業界ではセールスを大きく「一般」と「教旅」の2種類に分ける
- ・「教旅」とは教育旅行の略でセールスタージェットは学校の修学旅行
- ・「一般」セールスはそれ以外の全て、官公庁、企業、組織など
- ・自分は教育旅行担当として東京の立川支店に配属
- ・そこで15年勤務したのち、都内にある東京教育旅行支店で8年
- ・2011年、大震災の年に支店長として立川に戻る
- ・自分を育てて頂いた先生方が喜んでくれたのが嬉しかった
- ・27年の会社生活で一番驚いたことー今から15年前、2001年1月ニュースでNとK合併
- ・その日は都内で年初の幹部会議があったが誰もが新聞やテレビのニュースで初めてその事実を知らされた
- ・また初めてロータリークラブに入会させて頂く

- ・入会挨拶で「伝統と格式のある東京立川ロータリークラブに入会させて頂き～」を必ず言うよう先輩から指導
- ・その後の新入会員もみな同じことを言うので可笑しかった
- ・いろいろなことが少しずつ違うので新鮮
- ・出席は本人が自分で名前を書く
- ・親睦委員の主な仕事はニコニコの受け付けと発表
- ・金額は2000円、3000円がニコニコ、5000円以上が大ニコ、10000円以上が大ニコニコ
- ・読み上げ順は会長・幹事の後は金額順が原則だが毎回入念に委員長と確認
- ・内容の読み違いがあるとその場で厳しい指摘をされる大先輩もいらした
- ・親睦のテーブルのみ指定されていてまとまって坐る
- ・12：30開会点鐘だが早くいらっしゃる大先輩対応のため毎回11：30には会場入り
- ・月初は各種お祝いがあるため更に30分前に行って準備
- ・最も大変だったのが領収証書き
- ・職業柄4年間ずっと親睦委員をやらせて頂いた
- ・ワクワクバンドというバンドを組んで演奏をさせてもらったのも良い思い出

7. 私の家族

- ・同い年の妻
- ・長女はこの4月から地元不動産屋に就職
- ・長男は小学校から剣道をやり始め私と違う道を進んでいたが、今は大学を休学して療養中
- ・新潟に来て思うことー東京都の違い2つ
- ・少し車で走ると遙か先まで視界が開けるーものすごい開放感につながる
- ・都心はビルばかり、郊外は山ばかりー月1回帰る際最も耐え難いのが満員電車
- ・人が違うー人と人の繋がりを大事にする土地柄？
- ・役職定年の55歳までの4年間をこの地で過ごしたい

次週例会 5月20日 「美脳トレーニング」 曾田信子様

次々週例会 5月27日 「外部卓話」(株)スマイルファーム
代表取締役 安達里枝様

